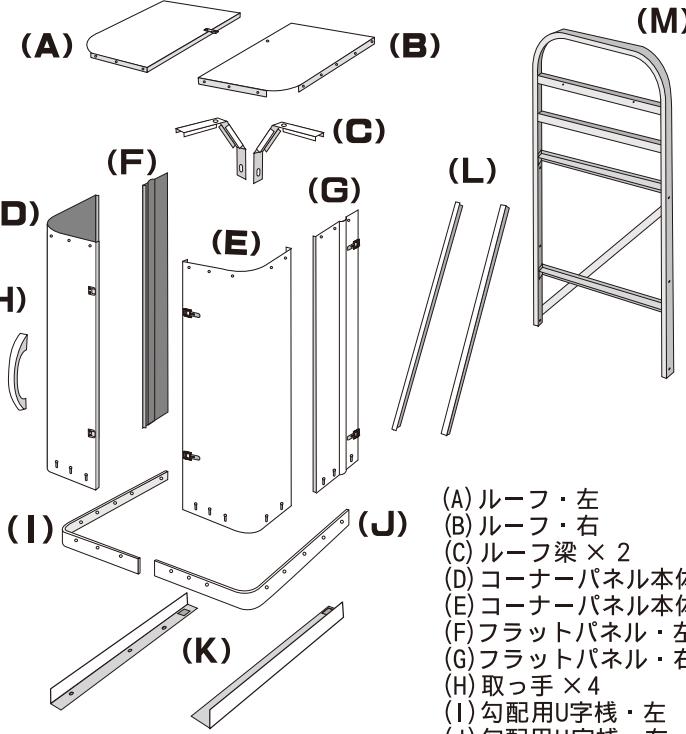


付属品

組立前に必ずご確認ください。

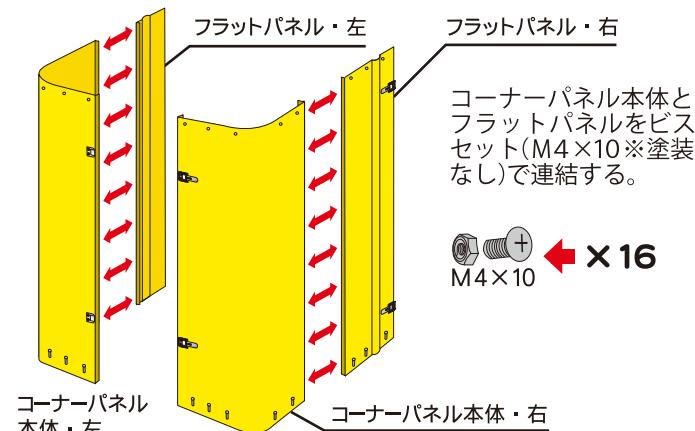


(N)	M4×10
(Q)	M8×18
(O)	M6×10
(R)	M8×45
(P)	M6×15
(S)	アンカーボルトセット × 6
(T)	アルミ製フィン × 4

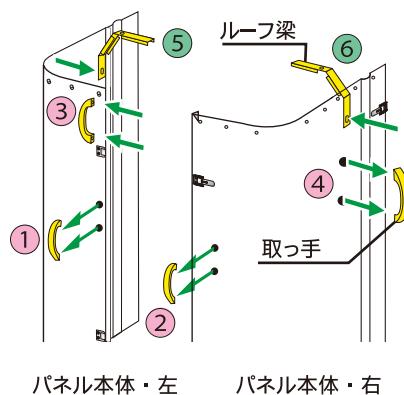
組立に必要な工具等

- ◆スパナ
- ◆ドライバー(+)
- ◆ハンマー
- ◆ドリル(3.6φ、コンクリートドリル 8.5φ)

①コーナーパネルとフラットパネルの連結



②取っ手とルーフ梁の取付け



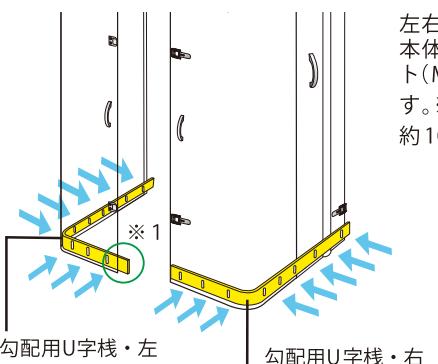
①～④左右のパネル本体の内側からトラスビス(M6×10※塗装なし)で正面の取っ手と側面の取っ手を取り付けます。

$\text{M6} \times 10 \leftarrow \times 8$

⑤⑥左右のルーフ梁を本体の外側からトラスビス(M6×10)で取付ける。

$\text{M6} \times 10 \leftarrow \times 2$

③勾配用U字棧の取付け

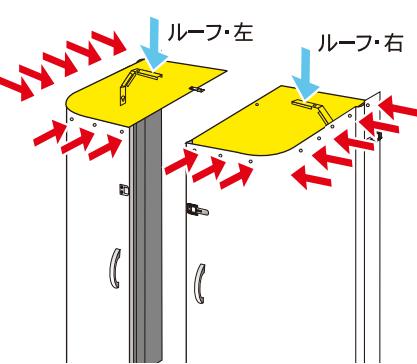


左右の勾配用U字棧をパネル本体に六角ボルトナットセット(M6×15)で仮止めします。※1(勾配用U字棧・左は約10mm外側に出ます。)

孔が空いている方が上になります。

$\text{M6} \times 15 \leftarrow \times 16$

④左右のルーフの取付け



パネル本体に左右のルーフを取付けます。ビスセット(M4×10)で仮止めして行きます。最後に本締めしてください。

$\text{M4} \times 10 \leftarrow \times 16$

ルーフとルーフ梁を六角ボルトナットセット(M6×15)で接続します。

$\text{M6} \times 15 \leftarrow \times 2$

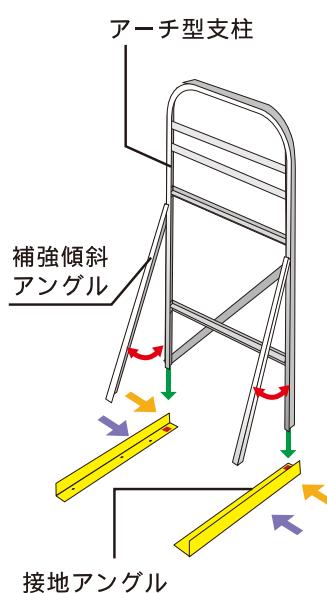
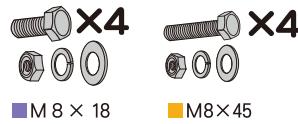
←ルーフ梁下部
ルーフが下がる様な時は
ルーフ梁をもちあげる様にして調整固定してください。
高さ調整できます。

←作業しにくい場合はドライバーなどで、片側をネジ孔に挿入しバランスをとり、取付けてください。

⑤ 接地アングルとアーチ型支柱の取付け

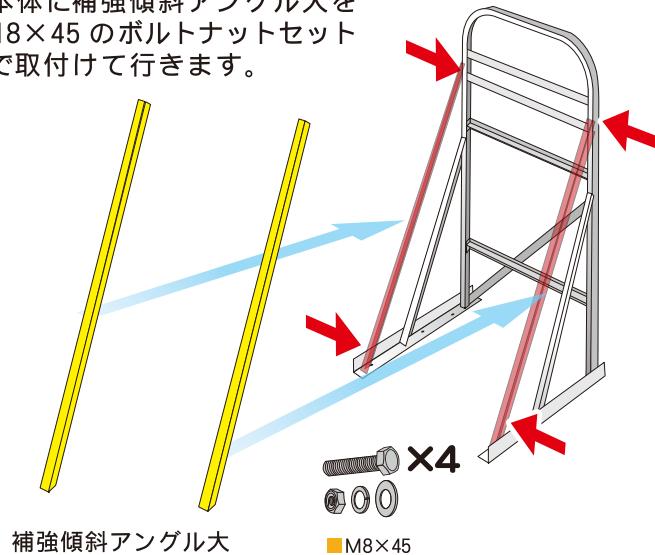
アーチ型支柱を上に置くように接地アングルの四角の孔に支柱を差し込む。その後アーチ型支柱に付いている補強傾斜アングルを広げ下部をのボルトナットセットで4力所を固定する。

※施工は出来るだけ2人以上でしてください。1人で組立てる場合は倒れない様に壁などにもたれさせ安全に作業してください。



⑥ 補強傾斜アングル大の取付け

本体に補強傾斜アングル大をM8×45のボルトナットセットで取付けて行きます。

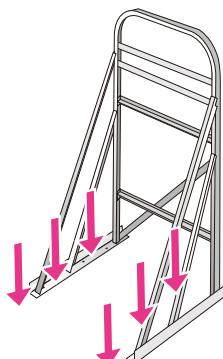


⑦ アンカーの取付け

アンカー取付け前に



連結完了後、水準器を、上下全体の棧に乗せて、水平を確認してください。



アンカーの位置を確認してドリル径8.5mmの穴を開けアンカーボルトセットで固定する。

※ポンベホルダー設置個所は、必ず事前に厚み10cm以上のコンクリートを施工しておいてください。



アンカーの取付方法

① 穴あけ



所定の径・深さで穴を開ける。

② 清掃



ダストポンプ等で孔内の切粉を除去。

③ 打込み



本体にナット・ワッシャーをセット後下穴に挿入し打込み。

④ 取付け



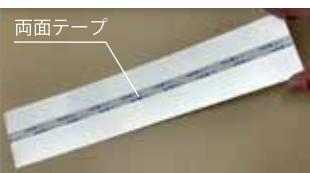
スパナ類を用いて、ナットの締付けを確認し、施工完了。

⑧ 本体の接続とアルミ製フィンの取付け

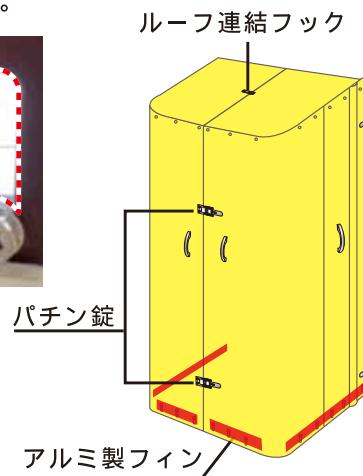
左右の本体をパチン錠2箇所、ルーフ連結フック1箇所で接続してください。接続後、下部のアジャスター・ナットを上下して調整し、水準器を見ながら水平にし本締めしてください。



パネル本体を隔壁にするために、アルミ製フィンを取り付けます。下記写真の様に空いている孔をふさいでいきます。



付属のアルミ製フィンの両面テープを剥がし本体の裏側から貼り付け孔をふさぎます。



⑨ 本体とポンベホルダーの取付け

本体とポンベホルダーをパチン錠4力所で止める。

※本体を取付け、パチン錠、ルーフ連結フックが正常に施錠するか確認してください。

